



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 平安レイサービス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 朗弘  
問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 浩彦 (TEL) 0463-34-2771  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,250	△2.7	272	△17.7	303	△15.5	197	△17.9
2023年3月期第1四半期	2,312	9.9	331	49.7	359	32.2	240	35.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 199百万円(△17.1%) 2023年3月期第1四半期 240百万円(35.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	16.23	—
2023年3月期第1四半期	19.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	33,389	20,302	60.8
2023年3月期	33,932	20,285	59.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 20,302百万円 2023年3月期 20,285百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	14.00	—	15.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,698	2.5	629	2.9	690	1.9	451	3.6	37.08
通期	9,932	2.7	1,588	6.4	1,708	5.0	1,117	6.1	91.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	12,306,795株	2023年3月期	12,306,795株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	139,100株	2023年3月期	139,100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	12,167,695株	2023年3月期1Q	12,227,695株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済の概況は、先行きについては雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されます。しかしながら、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクから物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスによる収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### ① 冠婚事業

当事業では、コロナ感染症の位置付け変更により披露宴を伴う婚礼は一部持ち直しております。その中で、引き続きフォトウェディングや成人式などの各種衣装レンタルや写真撮影といった商品の販売強化を行ってまいりました。また、来館が難しい状況下においても当社施設の特徴や各種オリジナル商品に触れる機会を作るべく、来館しながら商品や施設を案内する「オンライン相談」を継続して実施、衣装や写真を中心とした小規模ウェディング専用の商品見直しを行うとともに、コミュニティーウェディングの新スタイルとなるコーディネートを増やしSNSやWebでの露出を強化、新規顧客誘引に努めてまいりました。

その結果、売上高は60百万円（前年同期比8.9%増加）、営業利益は3百万円（前年同期比2,122.0%増加）となりました。

#### ② 葬祭事業

当事業は、平安レイサービス(株)とさがみライフサービス(株)の2社で構成されております。

当事業では、故人を生花で囲んで送る「花園」や思い出の品々で人柄を表現する「追悼壇」、オブジェや装飾と生花を融合させた「追悼生花祭壇」、重低音から超高音まで原音を忠実に再現する「オリジナル大型スピーカー」により故人を偲ぶ音楽葬の提案、その他社内製作によるオリジナル商品を通じてご家族の方々の想いを形にする提案を継続して行っております。

教育面では、当社独自となる生前相談の研修であるカウンセリングセールストーク研修、潜在的な想いを当社オリジナル商品を通じて具現化するコンサルティングセールストーク研修を常に現場で行えるよう、管理職に対して改めて実施しております。

コロナ感染症の位置付け変更がありましたが、引き続き感染症の予防対策を徹底し、「貴殯室」をはじめとした不特定多数の人たちと交わらない施設の優位性を活かし、顧客満足度向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間において、当社主要エリアにおける死亡人口増減率が前年同期に比べ下降する中、Webをはじめとした各広告媒体の刷新を行い、品質を中心に価格面での見やすさも含めて見直しを行いました。既存大型施設の改修工事による営業縮小の影響もあり葬儀施行件数は減少したため、売上高は1,915百万円（前年同期比3.3%減少）、営業利益は500百万円（前年同期比6.4%減少）となりました。

#### ③ 互助会事業

当事業では、葬儀施行において互助会利用件数が減少しましたが広告宣伝費等の経費を抑えたことにより、売上高は45百万円（前年同期比2.8%減少）、営業利益は22百万円（前年同期比2.9%増加）となりました。

#### ④ 介護事業

当事業では、スタッフを確保できた訪問看護やデイサービスで契約件数を伸ばしましたが、求人費用や教育のための労務費が増加し、グループホームや高齢者向け賃貸住宅では入居者の入れ替わりに伴うリフォーム費用が発生いたしました。その結果、売上高は274百万円（前年同期比0.2%増加）となり、営業利益は10百万円（前年同期比39.2%減少）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,250百万円（前年同期比2.7%減少）、営業利益は272百万円（前年同期比17.7%減少）、経常利益は303百万円（前年同期比15.5%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は197百万円（前年同期比17.9%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して542百万円の減少となりました。流動資産では、法人税等の支払い等により現金及び預金が323百万円減少しました。固定資産は、土地の取得181百万円等により有形固定資産が162百万円増加、供託金の減少435百万円等により投資その他の資産が496百万円減少しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比較して559百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が328百万円減少しました。固定負債では、前払式特定取引前受金が73百万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して16百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月8日に公表いたしました業績予想のとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,662,665	8,338,958
売掛金及び契約資産	218,362	238,806
商品及び製品	44,301	43,964
原材料及び貯蔵品	119,511	124,537
その他	183,696	276,874
貸倒引当金	△3,090	△3,280
流動資産合計	9,225,447	9,019,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,240,860	6,233,663
機械装置及び運搬具（純額）	196,191	185,933
工具、器具及び備品（純額）	191,694	189,438
土地	9,139,469	9,320,745
建設仮勘定	182,115	183,552
有形固定資産合計	15,950,332	16,113,331
無形固定資産	67,457	63,801
投資その他の資産		
投資有価証券	117,231	119,927
長期貸付金	10,000	10,000
繰延税金資産	416,215	369,827
供託金	6,326,000	5,891,000
その他	1,819,440	1,801,832
投資その他の資産合計	8,688,886	8,192,588
固定資産合計	24,706,675	24,369,721
資産合計	33,932,122	33,389,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	206,190	159,414
未払法人税等	377,670	48,915
未払消費税等	96,154	107,213
掛金解約手数料戻し損失引当金	1,210	1,054
その他	728,014	600,339
流動負債合計	1,409,240	916,939
固定負債		
繰延税金負債	—	5,009
役員退職慰労引当金	182,862	185,560
退職給付に係る負債	83,912	83,912
資産除去債務	157,693	159,468
前払式特定取引前受金	11,775,271	11,702,041
その他	37,789	34,493
固定負債合計	12,237,528	12,170,486
負債合計	13,646,768	13,087,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	16,775,522	16,790,452
自己株式	△115,783	△115,783
株主資本合計	20,283,650	20,298,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,703	3,576
その他の包括利益累計額合計	1,703	3,576
純資産合計	20,285,353	20,302,156
負債純資産合計	33,932,122	33,389,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,312,403	2,250,701
売上原価	1,612,779	1,601,251
売上総利益	699,624	649,449
販売費及び一般管理費	368,416	376,811
営業利益	331,207	272,637
営業外収益		
受取利息	214	153
受取配当金	185	203
掛金解約手数料	5,505	6,910
受取家賃	12,236	11,573
その他	15,371	15,886
営業外収益合計	33,513	34,726
営業外費用		
供託委託手数料	75	74
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	535	38
保険解約損	69	527
減価償却費	2,473	2,645
その他	1,744	207
営業外費用合計	4,898	3,493
経常利益	359,823	303,871
税金等調整前四半期純利益	359,823	303,871
法人税、住民税及び事業税	93,344	55,852
法人税等調整額	25,928	50,572
法人税等合計	119,272	106,425
四半期純利益	240,551	197,446
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	240,551	197,446



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	240,551	197,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215	1,872
その他の包括利益合計	△215	1,872
四半期包括利益	240,335	199,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,335	199,318
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月26日 定時株主総会	普通株式	171,187	14	2022年3月31日	2022年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月27日 定時株主総会	普通株式	182,515	15	2023年3月31日	2023年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	55,622	1,980,195	—	273,604	2,309,423	2,980	2,312,403
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	55,622	1,980,195	—	273,604	2,309,423	2,980	2,312,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	47,149	—	47,149	—	47,149
計	55,622	1,980,195	47,149	273,604	2,356,573	2,980	2,359,553
セグメント利益又は損失(△)	172	534,176	21,957	17,352	573,659	△366	573,292

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	573,659
「その他」の区分の損失	△366
全社費用(注)	△242,085
四半期連結損益計算書の営業利益	331,207

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	60,560	1,915,140	—	274,190	2,249,891	810	2,250,701
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	60,560	1,915,140	—	274,190	2,249,891	810	2,250,701
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	45,827	—	45,827	—	45,827
計	60,560	1,915,140	45,827	274,190	2,295,718	810	2,296,528
セグメント利益又は損失(△)	3,823	500,087	22,603	10,546	537,061	△685	536,375

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	537,061
「その他」の区分の損失	△685
全社費用(注)	△263,737
四半期連結損益計算書の営業利益	272,637

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。